



ふれあいネットワーク

ゆの

社協だより

2019年
10.24
No.56



庄内地域こすもすの集い 令和元年9月1日(日)開催 (詳細は次ページ掲載)

庄内地域に暮らす75歳以上の一人暮らしの方々を招き、子供神楽や講話を楽しみました。

もくじ

福祉のひろば	2~3	令和元年度 赤い羽根共同募金運動	9
地域コーナー	4~5	令和元年度 社協会費報告	10
ボランティアコーナー	6	寄付のお礼	11
地域貢献事業紹介コーナー	7	お知らせ	12
包括だより	8		

 この広報誌は一部共同募金の配分金で発行されています。

ひとり暮らし高齢者の集い
庄内地域こすもすの集い

9月1日(日)

庄内公民館大ホールで「庄内地域こすもすの集い」が初めて開催されました。この催しは、庄内町民生児童委員協議会が主催し、福祉推進員が協力、由布市社会福祉協議会が後援して行われました。町内75歳以上の一人暮らしの高齢者に外出する場を提供し、同じ立場の仲間と交流を深めることにより、孤独感の解消や仲間づくりにつなげることを目的としています。自家用車で来られる方もいらっしゃいましたが、大半の方は民生児童委員と福祉推進員で手分けして送迎しました。



この日は町内から96名の方が参加し、「特殊詐欺について」のテーマで大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス)の須藤里美さんがわかりやすく、講演されました。休憩をはさんで子供神楽が演舞され、その勇壮な舞、力強い太鼓の楽に来場の方の拍手喝采が止みませんでした。最後は一人ひとりに民生児童委員からお弁当が手渡され、にこやかな表情で帰路につかれました。



親子ふれあいツアー
(ひとり親家庭支援事業)

8月4日(日)

市内で高校生までのお子さんと暮らす、母子・父子世帯の親子を中心に民生児童委員の協力のもと、今年も城島高原パークにでかけました。今回は26組67名の参加でした。各地域から「ほのぼのプラザ」市民交流室に集合し、出発式のじゃんけん大会では子どもたちみんなテンションが上がり、いきなり大盛り上がりでした。城島高原パークでも子どもたちはテンションが上がりっぱなしで、帰りのバスの中でも疲れたのか、ほとんどの子どもが夢の中でした。



出発式では、みんなでじゃんけん大会！3回勝った子から賞品を選びました。



遊んだあとは、図書カードのプレゼント。いっぱい遊んで、いっぱい勉強してね。

- 天気が良く暑かったですが、子どもたちもケガがなく、一日楽しく遊んできました。
- なかなか遊びに行けないので、毎年楽しみにしています。
- とても楽しかったです。是非来年も行きたいです。
- 久しぶりに親子で楽しく過ごすことができよかったです。
- いっぱい遊べてうれしかったです。

参加者の声



防災セミナー

7月30日(月)

日本赤十字社大分県支部の職員を講師にお招きし、非常持ち出し品の説明と毛布を使った担架による緊急搬送の方法など、参加者50人は貴重な体験をすることができました。

また、ハイゼックスを使用して、由布市食生活改善推進協議会会長梅尾矢代氏他2名をお招きし参加者全員で非常食の調理実習を行い、もしもの時の対応について知る機会となりました。

※ハイゼックスとは、米や食材を入れて調理することができる、強化ポリエチレンでできた包装食袋です。



毛布を使った担架



由布市災害ボランティアハイスク
隊小野露隆隊長の活動報告

ハイゼックスによる調理実習

地域コーナー

第41回 町内一斉清掃
奉仕活動

7月29日(日)

夏と冬の年2回、庄内地域の美化を目的に、町内の社会福祉法人、民生児童委員協議会、商工会等の施設・団体がボランティア活動の一環として行っています。

当日は天気にも恵まれ、総勢151名の参加がありました。道路や道端、側溝の中などに落ちているゴミや空き缶を拾っている、あつという間に汗が吹き出します。集めたゴミの中には、「なぜこんな物が？」というゴミもあり、清掃後は「ゴミ袋の山が出来上がっていました。」

ボランティア活動として、今回41回目の開催！歴史あるボランティア活動は、庄内地域の財産です。
ご参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。



第3回小原盆踊り & カラオケ大会

8月20日(火)

由布市社会福祉協議会では、地域貢献の一環として、小原自治区の小原盆踊り実行委員会と共催し、大会を盛り上げています。あいにくの天気の中、急遽会場を「ほのぼの」プラザ市民交流室に移しての開催でしたが、70名近くの参加があり、盆踊りにカラオケにとおおいに盛り上がりました。



第3回小原盆踊り
カラオケ大会
日時 8月20日(火)18時30分より
会場 社会福祉協議会 第二ホール(社協内)
入場 盆踊り 18:40~19:20
カラオケ 19:20~20:00
大抽選会 20:00~20:30
主催 小原盆踊り実行委員会 共催 社会福祉協議会



由布RUN伴+2019

9月29日(日)開催



RUN伴とは? RUN伴(ランとも)とは、認知症の人や家族、支援者、地域の人が少しずつリレーをしながら、1つのたすきをつなぎ、ゴールを目指すイベントです。認知症の人もそうでない人も、たすきを通じて、つながり、広がることで、認知症についての理解が広まることを目指しています。

4年目となった由布RUN伴+2019の参加者は181名!!
たくさん笑顔があふれました



認知症の人もそうでない人も、誰もが笑顔で過ごせる由布市でありますように...

この日は由布市一斉オレンジアクションデイとして、オレンジ色のものを身に着ける事で想いを共にしました

ゆーふーも オレンジ Tシャツ

オレンジ色のタオルで応援

軒先に オレンジの シャツ

オレンジエコバッグを持参

支え合い推進会議 (協議体)

7月16日(火)
湯布院福祉センター
大会議室

湯布院地域では、九重町社会福祉協議会の藤野氏・支え合いリーダーの前田氏を講師として招き、九重町の活動や住民同士の助け合い・支え合う仕組みづくりについての研修会を開催しました。庄内と挾間地域の推進員さんも参加していただきました。次回会議で湯布院地域でどのような活動にしていけるかを検討していきます。

「わくわく子どもえん」って?

福岡県糸島市にある自然体験型の保育園。毎日豊かな自然の中を採検しながら春の準備をしています。由布院では月1回開催しています。

「社協だより」に記事を書かせてみませんか。
地域のイベント、日々感じていることなど、なんでもOK! 掲載を希望される方は、社協の各事務所「社協だより担当」まで記事をお送りください。

読者投稿コーナー

自然の中でのびのび遊ぼう。季節の移り変わりを五感で感じる。子どもの興味や個性を大切に自然の中ですべてを味わおう。子どもたちがその子らしくそのまま遊びつくす時間を一緒に過ごしていきます。

申込み・わくわく子どもえん 由布院
お問合せ 090-7500-5854 (三浦)

わくわく子どもえん 由布院

湯布院

いきいき健康教室
(お茶の間サロン)

日時 毎週木曜日 10時~11時30分
場所 B&G海洋センター

軽スポーツとシニアエクササイズを交互に隔週で行い健康づくりとおしゃべりにはなを咲かせ、皆さんの笑顔がとても素敵なサロンです。



生活支援コーディネーターは地域の集いの場を応援しています。

あなたの地域の
集いの場

庄内

柿原いきいきサロン
(お茶の間サロン)

日時 毎月10日・20日 10時~12時
場所 柿原公民館 ほか

季節に応じて近隣道路の花壇に花の種や苗を植え、地域を花いっぱいにする活動や、ひばりこども園の園児と交流したりと地域密着型のサロンです。



いつまでも元気で由布市で暮らしていけるよう、様々な工夫を凝らしたサロン(集いの場)が開催されています。近くのサロンに参加して、笑顔と運動でいつまでも健康で過ごしましょう。

挾間 古野シニアクラブ
(お茶の間サロン)

日時 毎月第3水曜日 13時15分~15時15分
場所 由布川地域交流センター

シニアエクササイズやレクリエーションで気持ちの良い汗をながしています。常に笑顔や笑い声があふれるサロンです。



みんなで地域の生活を考えます!!

寄稿/地域福祉課地域生活支援係
由布市障がい者相談支援センター

由布市が設置する由布市地域自立支援協議会は、障がいの種別を問わず、由布市内で生活している当事者やご家族が抱える課題を「地域課題」として捉え、障がい福祉に関わる関係機関がネットワークをつくり、その地域課題を解決していくための支援体制の整備をすすめ、支援の仕組みづくりを考えていくことを目的として設置されている協議体です。

8月7日(水)に令和元年度第1回の協議会を開催し、大分県自立支援協議会に所属する県内アドバイザーをお招きし、第5期由布市障がい福祉計画(平成30年度~令和2年度)で市内に設置が検討されている「地域生活支援拠点等(障がいのある人が地域で安心して暮らし続けるために必要な居住支援機能)の体制整備」について、宇佐市と別府市の取り組み事例を参考に、由布市における体制整備を進めていくための協議を行いました。



今後は、各部会を通じ、協議を継続し地域生活支援拠点の体制を整えていくこととなりました。

- こども支援部会**
 - ① 生活のしづらさを抱えているこどもや親御さんへの支援
 - ② 地域の療育を充実させるために必要な課題を明らかにし解決に結びつける支援
 - ③ 障がいの理解を深めるための学習会や保護者へのアドバイスを行う支援
- くらし支援部会**
 - ① 障がい者・児が地域生活を送るために必要な住居や移動等生活に関する支援
 - ② スポーツ・文化活動などの障がい者・児の生きがいつくりの支援
 - ③ 障がい者・児への防災・防犯に関する支援
- しごと支援部会**
 - ① 障がいをお持ちの方の就労に関する支援
 - ② 企業との情報交換・交流、実習先を開拓し一般就労へつなげる支援
- 相談支援部会**
 - ① 地域における相談支援体制の充実と質の向上に向けた取り組み
 - ② 相談支援事業所間の情報共有とネットワーク構築に関する取り組み
 - ③ 相談支援での課題解決のために必要な社会資源の開発及び改良に関する取り組み

鹿児島県鹿屋市へ視察研修



車を待っている間におしゃべりサロン開催♪



由布市社会福祉法人施設経営者協議会では、新たに買物支援事業(「エンジョイ買物事業」)を展開するため、先進地である鹿児島県鹿屋市で視察研修を行いました。

今年度は、モデル事業として庄内地域で「情和園」が実施することになっています。

鹿屋市が行っている買物支援事業は、社会福祉法人が所有するマイクロバスがデイサービス事業等の空き時間に1週間に1回、定められた集合場所に集まっている利用者を無料で買物場所「スーパーマーケット」等に送迎する事業です。送迎時間中のマイクロバス内が「サロン」の役割を果たします。

数人でバスを待っていた利用者は、「この事業により楽しみが増えて、人と話す機会が増えた。」と楽しそう。また、「元気で自立していないと、買物には行けなくなる。」と、1週間分の食料や生活用品を抱えた利用者は本当に楽しそうに話してくれました。

この後、情和園と社会福祉協議会(事務局)で、利用地区や利用者の選定などの手続きを経て、事業をスタートさせます。経費、効果等を検証し、協議会に所属する社会福祉法人も実施できるか検討するようになっています。

この事業により、少しでも買物に困っている方々の役に立て生きがい作りに繋がって欲しいと願っています。

ゆふ支え愛 ども食堂(挟間)に視察研修



令和元年8月18日(日)に、日田市社会福祉協議会とども食堂の設置に関心をもつ日田市の方が、「ゆふ支え愛ども食堂(挟間会場)」に視察に来られました。

当協議会事務局から「ゆふ支え愛ども食堂」の目的や具体的な開催方法、内容などの説明を行いました。質疑応答では、設置に至る経緯、当協議会に関する質問があり、活発な意見交換が行われました。

ゆふ支え愛ども食堂の目的

こどもの孤食の解消、居場所機能を備えた場を目指すことにより、子育て世代の交流の場を確保するものとする。

参加者募集

ゆふ支え愛 ども食堂開催のお知らせ

11月~1月のゆふ支え愛ども食堂の日程です。事前申込へのご協力をお願いいたします。

時間 11:00 ~ 13:00

参加費 未就学児→無料 / 小中学生→100円 / 高校生以上→200円

挟間

場所 由布川地域交流センター
日にち 11/17(日)・12/15(日)・1/19(日)
申込み 挟間事務所
TEL: 097-583-4344

庄内

場所 庄内公民館
日にち 11/24(日)・12/22(日)・1/19(日)
申込み 庄内事務所
TEL: 097-582-2756

湯布院

場所 湯布院福祉センター(社協湯布院事務所)
日にち 11/17(日)・12/15(日)・1/19(日)
申込み 湯布院事務所
TEL: 0977-84-3610

寄付のお礼

次の方々から、お米や野菜等の寄付をいただきました。食材として活用させていただきます。ありがとうございました。

- 姫野 佳鶴子
- 庄内町ボランティアの会
- 匿名1名 (敬称略)

ボランティアコーナー

紹介 ボランティアで活躍する方々
ゆりかごの会

市内の子どもたちや高齢者にボランティアで絵本や昔話の読み語りを行っています。

数名で行う読み語りでは、話にあわせて、効果音をつけたり、手作りのグッズを使って、物語を再現したり、楽しい工夫がいっぱい。子どもも大人も楽しい読み語り。是非みなさんの地域にも呼んでみませんか。

読み語りをしてくれる仲間も募集しています。私たちと一緒に、地域のみなを物語の中へと連れて行きましょう。



お問い合わせ

ゆりかごの会 TEL097-582-2380

夏のボランティア体験報告



今年も、7月21日~8月31日までの間、自分たちが住む地域の福祉課題や地域課題を理解していただき、ボランティア活動への積極的な参加を促進するため、夏のボランティア体験月間が開催されました。

感想

【参加者】

各施設で積極的に利用者とのコミュニケーションを図れたのでよかった。思っていた内容と違って、とても楽しく活動ができた。

【施設】

ボランティア体験を通じて介護や福祉の仕事に就いてくれる方が増えればと感じています。ボランティアを通じて、つながりを大切にしていきたいと思います。来年もまた来たいと言葉をいただきました。

登録者募集

由布市社会福祉協議会

災害ボランティア登録制度

● 災害ボランティア登録って?

災害発生時に自発的に救援活動を希望するボランティアが、災害現場において迅速かつ効果的に救援活動を行えるように事前に登録する制度です。

● 登録すると何がある?

登録者に対し、必要な情報提供、研修機会の提供、ならびに災害時対応訓練等の案内が届きます。

● 誰が登録できる?

満15歳以上の方
※18歳未満の場合は、保護者の承諾が必要となります。

● どこに申し込むの?

由布市社会福祉協議会 各事務所にお申込ください。申込書は事務所に備え付けています。

お問い合わせ

由布市社会福祉協議会 総務課(担当/大塚) TEL097-582-2756

心配ごと相談 無料

社会福祉協議会では各種相談を受け付けています。どんな悩みでも結構です。お気軽にご相談ください。秘密は厳守いたします。相談内容によっては専門機関と連携し解決をはかります。

例えばこんな相談

- 暮らしや住まいに関すること
- 家族に関すること
- 健康や医療に関すること
- 福祉に関すること

日 程	時 間	場 所
毎月第2・4木曜日	9:00~12:00	由布市役所挟間庁舎3階(社会福祉協議会挟間事務所)
毎月第2・4火曜日	9:00~12:00	ほのぼのプラザ(社会福祉協議会庄内事務所)
毎月第2・4木曜日	13:00~16:00	湯布院福祉センター(社会福祉協議会湯布院事務所)

～じぶんの町を良くするしくみ～

赤い羽根共同募金運動にご協力を

共同募金運動は10月1日から12月31日までの期間です

昭和22年にスタートした共同募金運動は、今年で73回目を迎えます。今年も「じぶんの町を良くするしくみ」として、10月1日から赤い羽根共同募金運動が展開されています。皆様からいただいた募金は、高齢者や障がいのある方などを支援する福祉活動や災害時の被災者支援などに役立てられます。



共同募金は次のように役立てられます

地域福祉推進のために

- ボランティア協力校活動
- 親子ふれあいツアー（ひとり親家庭支援事業）
- 広報啓発事業（社協だより）
- 福祉推進員研修

高齢者のために

- 老人クラブ活動の支援
- ひとり暮らしの方へふれあい郵便
- ひとり暮らしの方たちの交流会



障がいのある方のために

- 手話講習会
- 障がい者ふれあい交流会
- 障がい者団体活動の支援
- 福祉体験教室

ボランティアのために

- ボランティア研修会
- ボランティア活動の支援
- 防災セミナー

お問い合わせ

由布市共同募金委員会
 (由布市社会福祉協議会内)
TEL (097)582-2756
 由布市庄内町庄内原365番地1



平成30年度共同募金に多額の寄付を頂きました、岡幸正氏(挟間)へ厚生労働大臣より感謝状の贈呈がありました。

ありがとう メッセージ

平成30年度赤い羽根共同募金では、39件の申請があり、総額3,246,000円を助成いたしました。「ありがとうメッセージ」が届いていますので、一部をご紹介します。

趣旨である子どもたちに夢と希望を持たせ、心豊かな感性を育てる機会の一つとする、町内の子どもたちの出会いの場とし、お互いの交流を深める場の一つとする交流会ができました。ありがとうございました。
(由布市民協挟間支部 『集まれワイワイキッズ』)

おかげさまで、本校の子どもたちは、地域の方々とたくさんの交流ができました。子どもたちは、交流を通して相手の心を思い考える気持ちが育つとともに、この地域が大好きです。

(西庄内小学校 『地域との交流を深め、郷土を愛することも育てよう』)



集まれワイワイキッズでの様子

年2回開催して5年になり、地域の方や施設の方にも楽しみにしていただけるイベントになってきました。今回、テントなどを備えさせていただきありがとうございました。これからは、回数を増やしていけるよう努めていきたいと思っております。

(グループホームぐらん 『風のマルシェ』)



今回はお知らせが2つです!!



地域の『集まり』を調べています



住民の皆さまに、自分らしく自立した生活を送っていただくためには、介護保険サービスだけではなく、住民が主体となって行っているお茶飲み会やご近所同士での集まりなどにも参加していくことが必要と考えています!

そこで、現在どのような地域にどのような集まりがあるのかを「知る」活動を進めています。

今後住民の皆さまの集まりにお声をかけることがあると思いますが、よろしくお願いいたします♪



ほ
う
か
っ
た
よ
り
に
よ
り

市民公開講座のご案内

終活カウンセラーによる講演会を行います。

これからも安心して暮らしていくために、今できることは…?
一緒に考えてみませんか?

お問合せは
包括支援センター
まで♪

参加無料

日時：令和元年11月8日(金) 13:30~15:30

場所：由布市役所庄内庁舎 3F 大会議室

内容：①「これからの“安心”のために今できること」

講師：株式会社NICObit代表取締役
終活カウンセラー/遺品整理士 江田 梢氏

②「あんしんノートII」の活用について

講師：由布市地域包括支援センター職員



由布市地域包括支援センター

由布市庄内町庄内原321番地4
(由布市ほのぼの工芸館)

TEL097-582-0106 FAX097-582-0108

由布ささえんジャー



開所時間

月～金曜日
(祝日除く)

8:30~17:15

第14回 由布市社会福祉大会が開催されます

と き 令和元年 **11月27日** (水) 9:30 ~

ところ はさま未来館 文化ホール

講演 『歳はとっても口は元気だ！
楽しい会話で生き生き人生』



講師/ことの葉クローバー 代表 **松本 久美子** 氏

式典

表彰等

ダイヤモンド婚・金婚

由布市社会福祉協議会会長表彰

由布市社会福祉協議会会長感謝状

義援金の募集

募金方法

- ①由布市社会福祉協議会各事務所に持参
- ①下記振込先に直接振込

● 令和元年8月 佐賀県豪雨災害 受付期間 令和元年9月2日(月)~令和2年2月28日(金)まで

令和元年8月27日からの大雨により、佐賀県内各地で死傷者の人的被害や多数の家屋の浸水被害等が発生し、県下20市内において災害救助法が適用されました。大分県共同募金会では、この災害により被災された方々を支援することを目的に義援金の募集を行います。



金融機関	支店名	口座番号	口座名義
佐賀銀行	県庁支店	(普通)3044860	社会福祉法人 佐賀県共同募金会
ゆうちょ銀行	00950-9-237585		佐賀県共募 令和元年8月佐賀県豪雨災害義援金

● 令和元年 台風第15号千葉県災害 受付期間 令和元年9月17日(火)~12月30日(月)まで

令和元年9月8日に首都圏を直撃した台風15号の影響により、千葉県内において広範囲にわたる停電や断水等の甚大な被害が発生し、県下41市町に災害救助法が適用されました。大分県共同募金会では、この台風の被害により被災された方々を支援することを目的に義援金の募集を行います。

金融機関	支店名	口座番号	口座名義
千葉銀行	本店営業部	(普通)3495585	社会福祉法人 千葉県共同募金会
京葉銀行	本店営業部	(普通)3486924	社会福祉法人 千葉県共同募金会
千葉興業銀行	本店営業部	(普通)1081550	社会福祉法人 千葉県共同募金会
千葉信用金庫	千葉駅北口支店	(普通)0702826	社会福祉法人 千葉県共同募金会
ゆうちょ銀行	00160-2-293218		千葉県共募 令和元年台風第15号 千葉県災害義援金

発行 社会福祉法人 由布市社会福祉協議会

本所 庄内事務所	〒879-5434 由布市庄内町庄内原365番地1 TEL 097-582-2756 FAX 097-582-2878
挟間事務所	〒879-5502 由布市挟間町向原128-1 由布市役所挟間庁舎3階 TEL 097-583-4344 FAX 097-583-1041
湯布院事務所	〒879-5102 由布市湯布院町川上2863番地 TEL 0977-84-3610 FAX 0977-85-4921

★★★ 編集後記 ★★★

私は日田の出身です。庄内は梨が特産です。が、日田も梨が特産です。それでは、庄内梨と日田梨、どちらが美味しいのでしょうか？庄内梨は、幸水、豊水、二十世紀、新興、新高、愛宕という種類の梨、日田梨は、幸水、豊水、二十世紀、新興、新高、晩三吉という種類の梨が作られているそうです。今回は、幸水の味比べに挑戦。どちらの梨も瑞々しくて甘くて…今回は、「引き分け」ということで。

初めて記事を書きましたが、なかなか上手に書くことができず…ですから、これは「編集後記」ではなく、「編集後悔記」です。(古)